

## 人権と広報に関する e - モニターアンケート実施報告

人権と広報に関するアンケートの実施結果を 下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました e - モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

### アンケート概要

- 1 実施期間 平成 24 年 11 月 13 日 (火) から 12 月 3 日 (月) まで
- 2 対象者数 1,333 人
- 3 回答数 861 人
- 4 回答率 64.6%
- 5 回答者属性

#### 【性別】

	男 性	女 性
回答者数	476 人	385 人
構 成 比	55.3%	44.7%

#### 【年齢階層別】

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
回答者数	76 人	180 人	226 人	207 人	130 人	42 人
構 成 比	8.8%	20.9%	26.2%	24.0%	15.1%	4.9%

構成比については、小数点第二位を四捨五入しているため、合計は 100% になりません。

#### 【地域別】

	北 勢	中南勢	伊勢志摩	伊 賀	東紀州
回答者数	409 人	260 人	92 人	75 人	25 人
構 成 比	47.5%	30.2%	10.7%	8.7%	2.9%

北勢・・・四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢・・・津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩・・・伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

伊賀・・・名張市、伊賀市

東紀州・・・尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

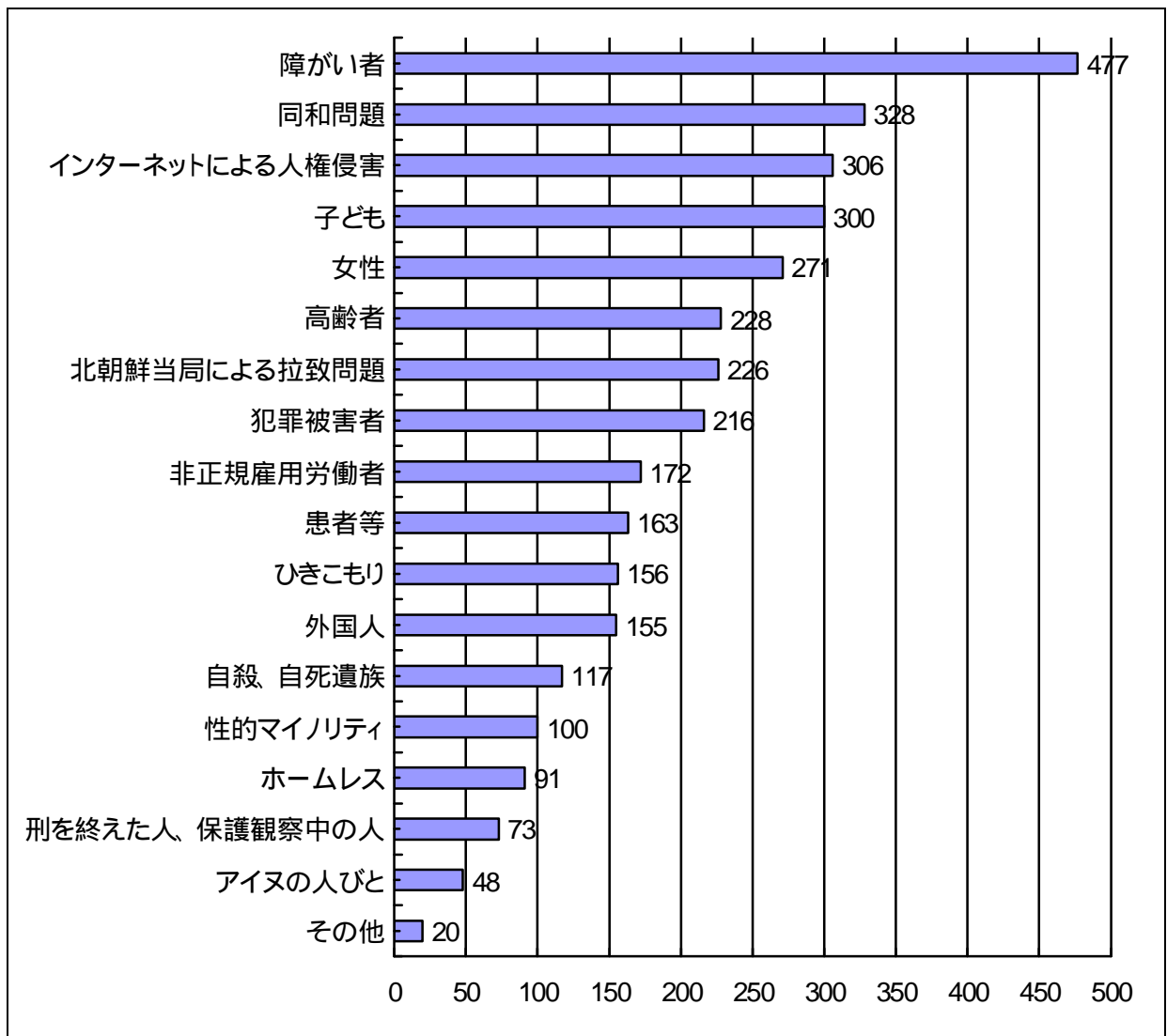
## アンケート結果の概要

### 設問1（人権課題への関心について）

人権課題について、関心のあるものは、「障がい者」を選択された方が477人（55.4%）、  
「同和問題」を選択された方が328人（38.1%）、「インターネットによる人権侵害」  
を選択された方が306人（35.5%）などの順となっています。

「その他」では「パワーハラスメント」や「いじめ」などの回答がありました。

（単位：人）



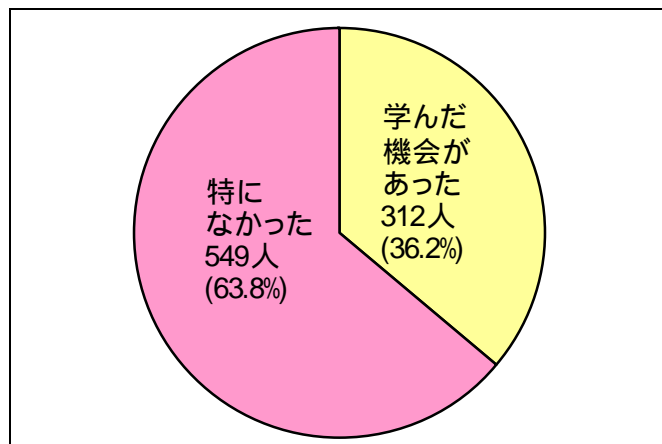
### 設問2（人権学習の機会について）

人権学習の機会について、最近一年間で人権に関して学んだり、知識を得たりした機会があった方は312人（36.2%）で、特に機会のなかった方は549人（63.8%）でした。

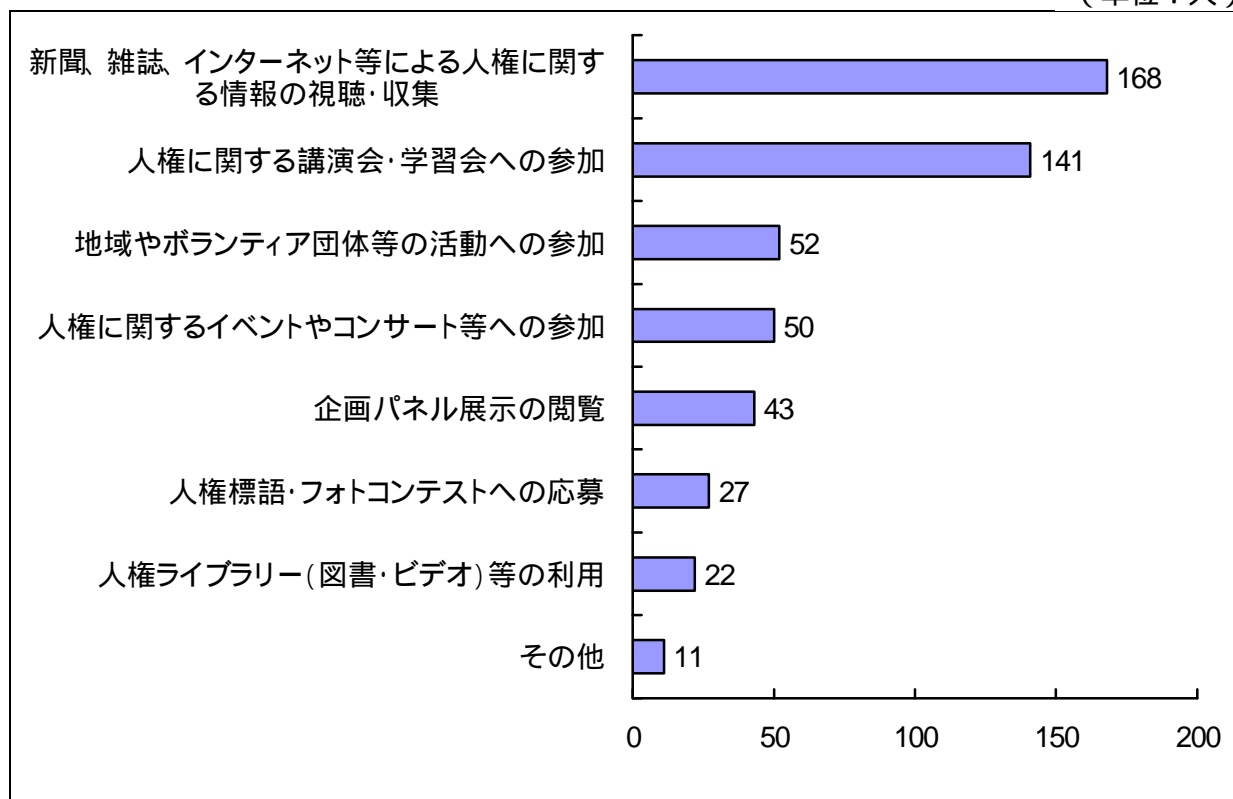
また、その機会について、「新聞、雑誌、インターネット等による人権に関する情報の視聴・

収集」を選択された方が168人、「人権に関する講演会・学習会への参加」を選択された方が141人、「地域やボランティア団体等の活動への参加」を選択された方が52人、「人権に関するイベントやコンサートへの参加」を選択された方が50人などの順となっています。

「その他」の回答では、「会社・職場での研修・教育」、「地区懇談会」などがありました。



(単位：人)

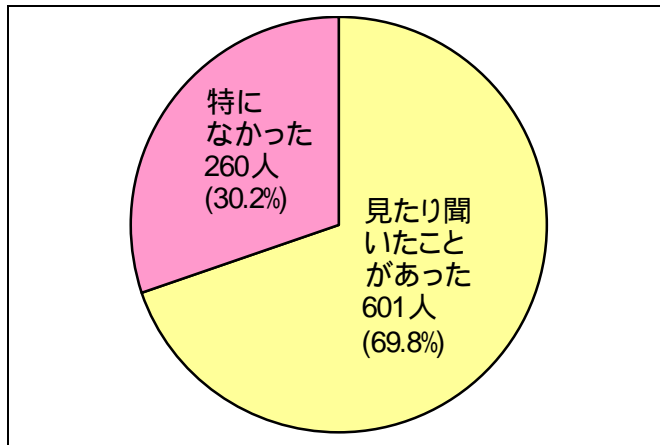


**設問3** 人権啓発について、最近一年間で人権に関する啓発等を見たり聞いたことがあった方は601人(69.8%)で、特になかった方は260人(30.2%)でした。

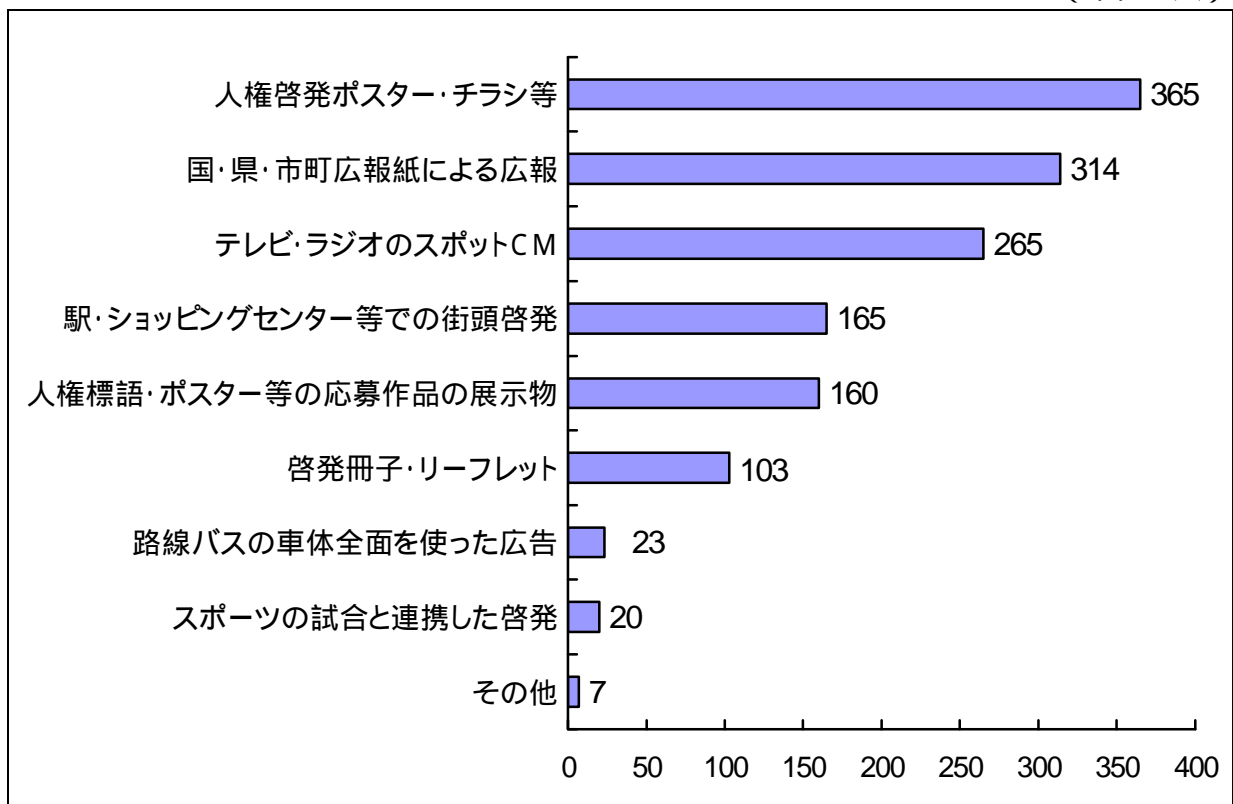
また、その取組について、「人権啓発ポスター・チラシ等の掲示物」を選択された方が365人、「国・県・市町広報紙による広報」を選択された方が314人、「テレビ・ラジオ

のスポットCM」を選択された方が265人、「駅・ショッピングセンター等での街頭啓発」を選択された方が165人などの順となっています。

「その他」の回答では、「会社での掲示」や「テレビ番組」などがありました。



(単位：人)

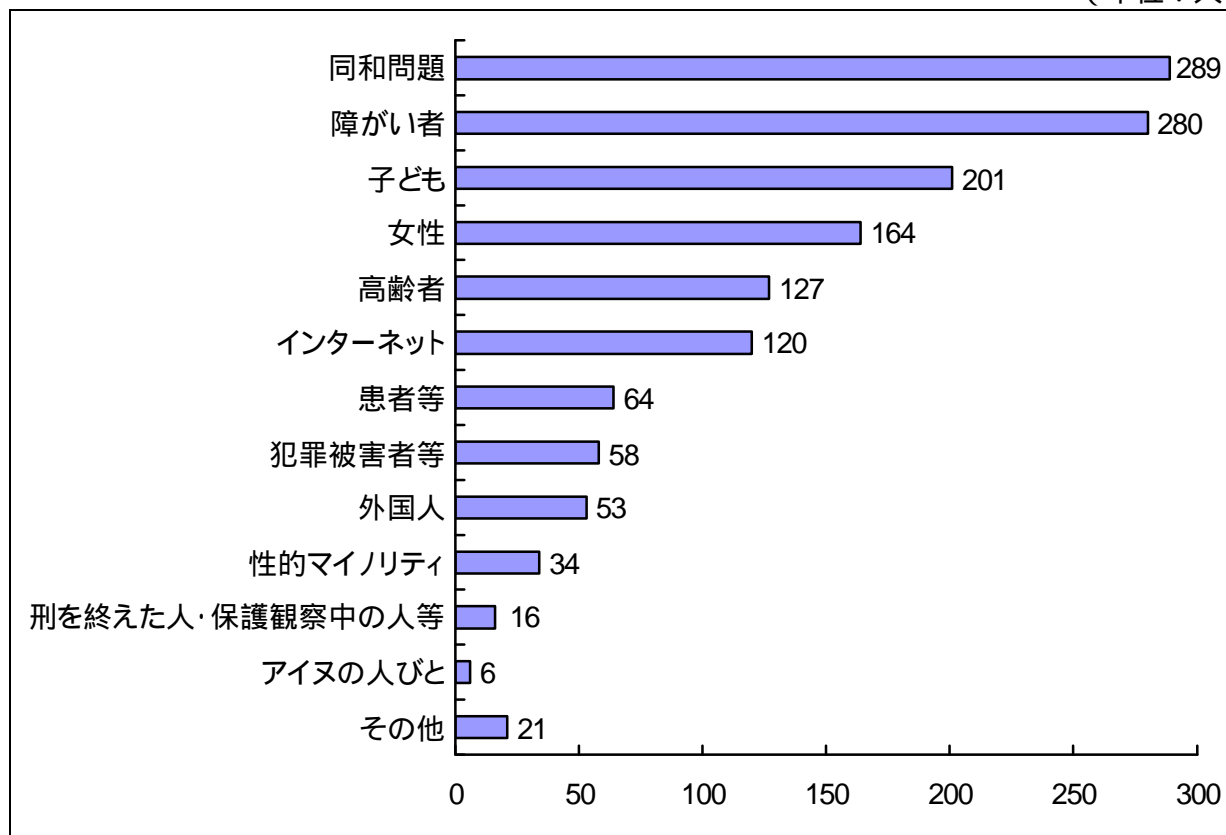


**設問4** 設問2または設問3において、関わりのあった人権問題については、「同和問題」を選択された方が289人、「障がい者」を選択された方が280人、「子ども」を選択された方が201人、「女性」を選択された方が164人、「高齢者」を選択された方が127人などの順となっています。

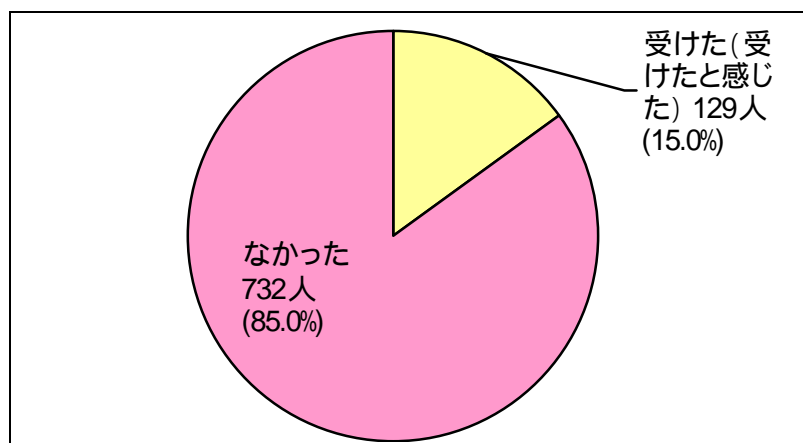
「その他」の回答では、「パワーハラスメント」や「北朝鮮当局による拉致問題」などがあ

りました。

(単位：人)



**設問5** 人権侵害について、自分、又は家族や友人・知人が、最近一年間でいじめや虐待、セクシャルハラスメント、ドメスティックバイオレンス(DV)、差別待遇などを受けた(受けたと感じた)方は129人(15.0%)で、なかった方は732人(85.0%)でした。

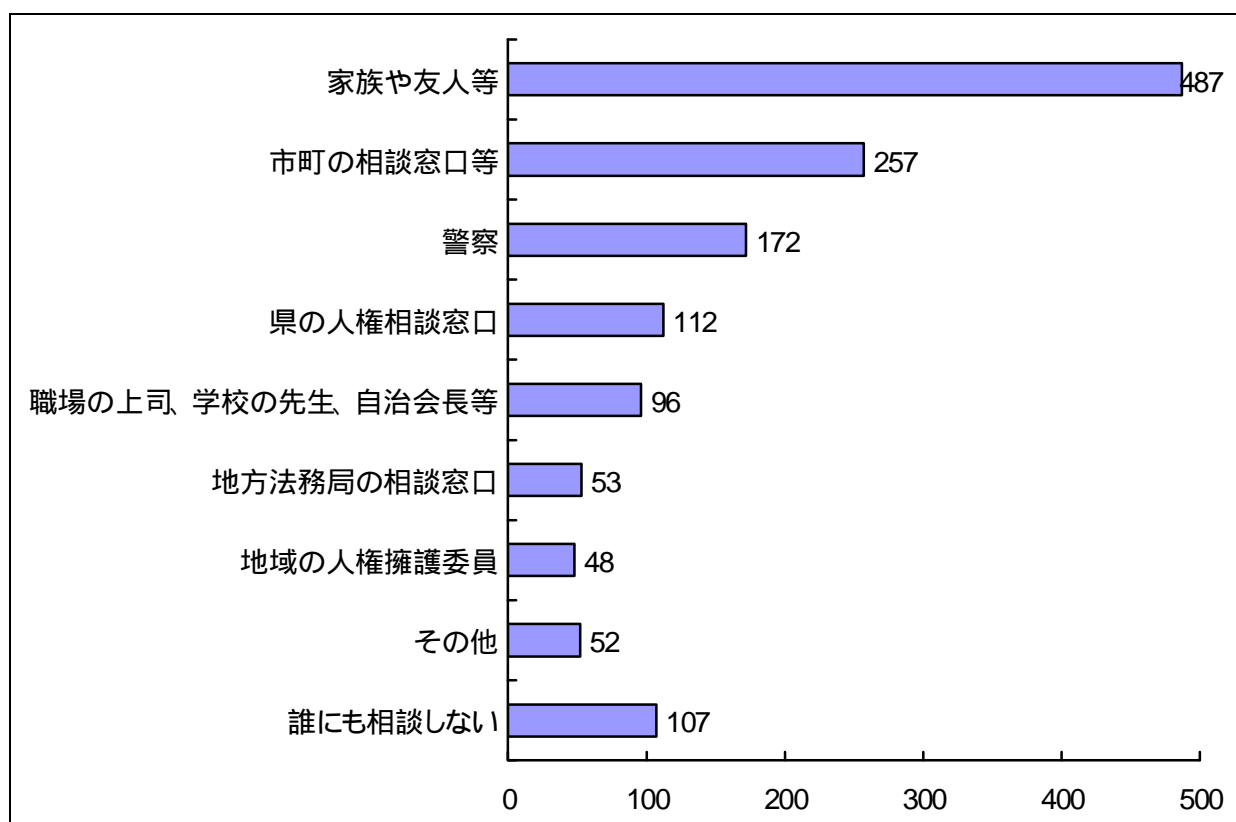


**設問6** 人権侵害を受けた場合の相談する相手・機関については、「家族や友人等」を選択

された方が487人(56.6%)、「市町の相談窓口等」を選択された方が257人(29.8%)、「警察」を選択された方が172人(20.0%)、「県の人権相談窓口」を選択された方が112人(13.0%)、「職場の上司、学校の先生、自治会長等」を選択された方が96人(11.1%)などの順となっています。また、「誰にも相談しない」を選択された方が107名(12.4%)でした。

「その他」の回答では、「弁護士」や「NPO」、「電話相談」といったものがありました。また、「どこに相談したらいいのか、わからない」や「問題の内容により違う」などの意見がありました。

(単位：人)



いじめや差別などの人権侵害を受けて困っている場合(困っている方がいる場合)、三重県人権センター等公的な機関でご相談を受けていますので、下記のホームページをご覧ください。記載の連絡先等へお問い合わせください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/38043032182.htm>

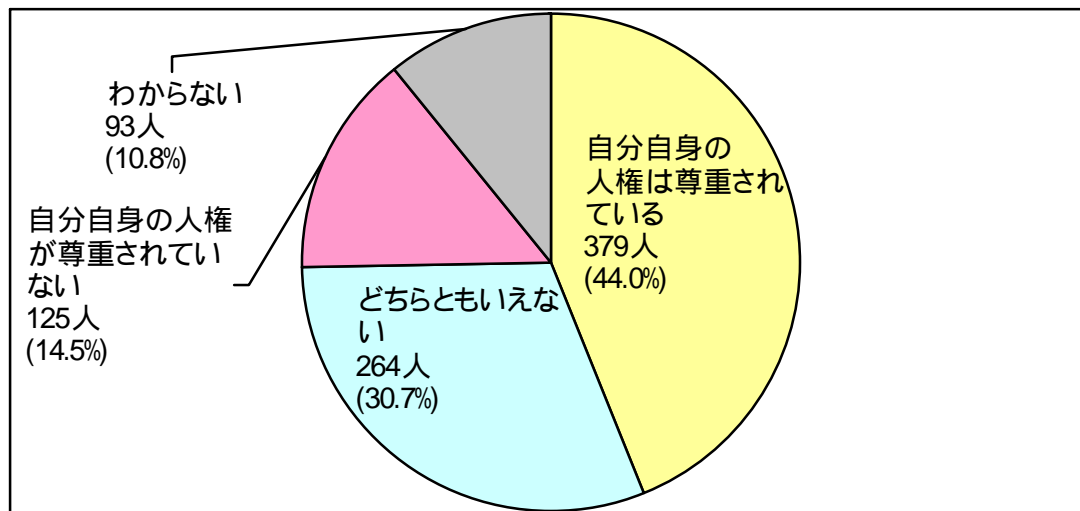
**設問7** 自分自身の人権が尊重されていると感じている方は、「感じる」と回答された方83人(9.6%)、「どちらかといえば感じる」と回答された方296人(34.4%)を合わせて379人(44.0%)となっています。

一方、尊重されていないと感じている方は、「感じない」と回答された方50人(5.8%)

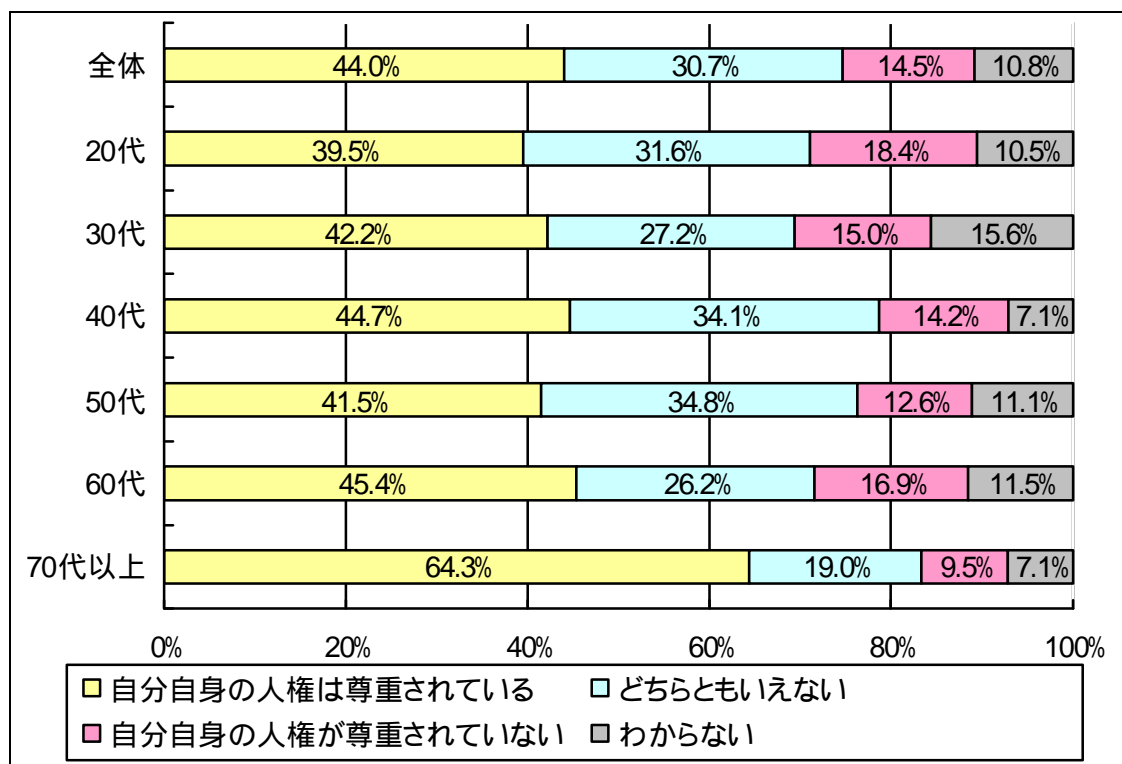
「どちらかといえば感じない」と回答された方75人(8.7%)を合わせて125人(14.5%)となっています。

なお、「どちらともいえない」と回答された方は264人(30.7%)、「わからない」と回答された方は93人(10.8%)でした。

【総計】



【年代別】



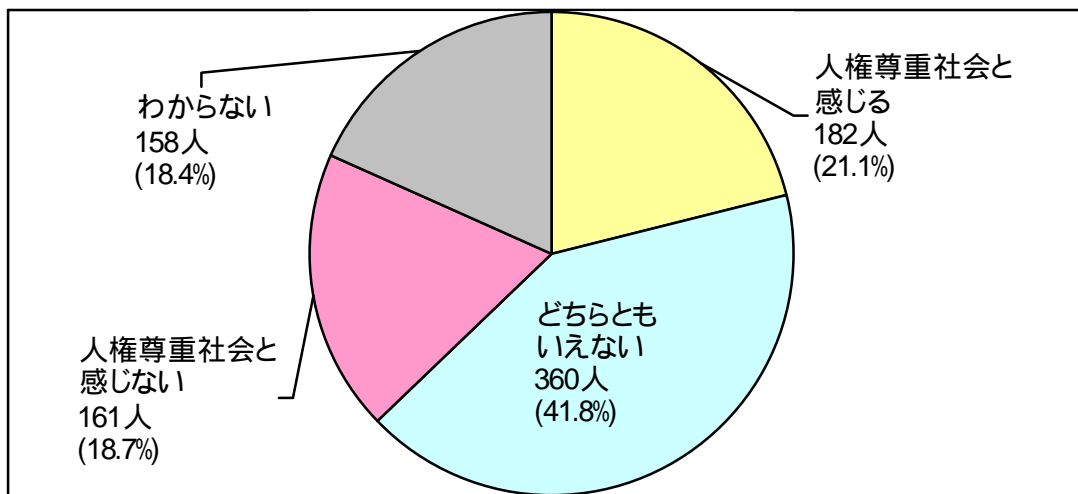
設問8 三重県は人権尊重社会になっていると感じている方は、「感じる」と回答された方17人(2.0%)、「どちらかといえば感じる」と回答された方165人(19.2%)を

合わせて182人(21.1%)でした。

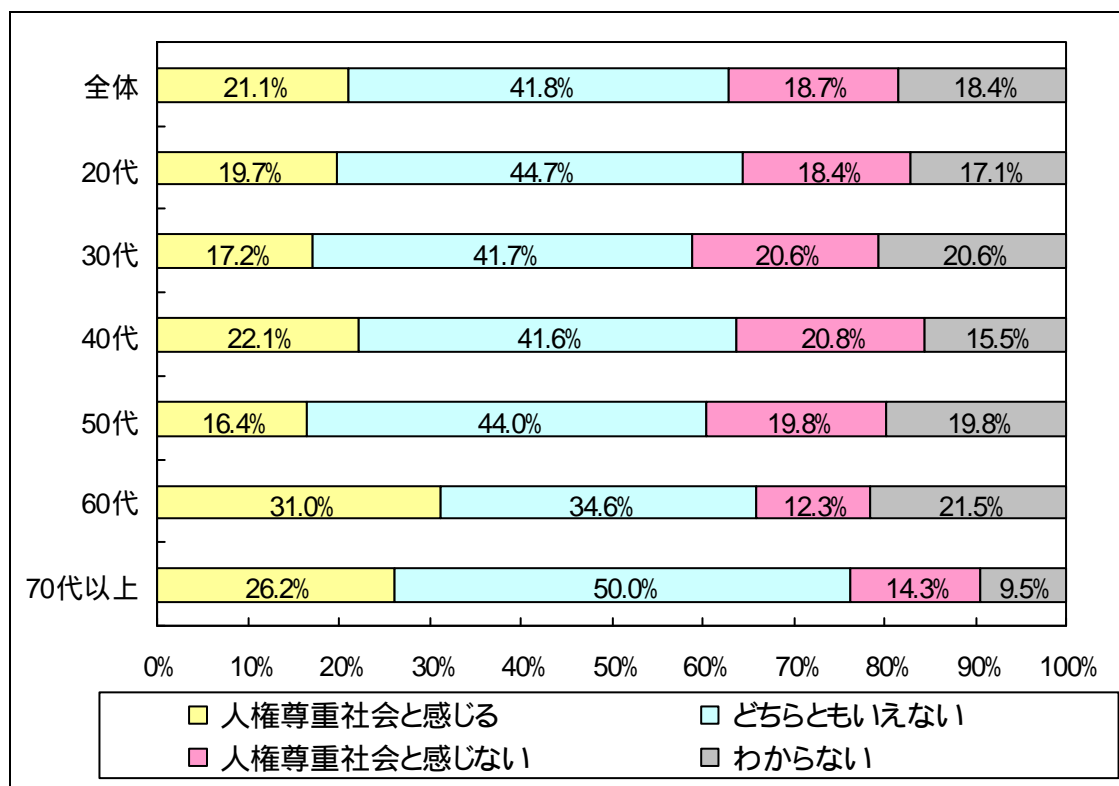
一方、人権尊重社会になっていないと感じている方は、「感じない」と回答された方74人(8.6%)、「どちらかといえば感じない」と回答された方87人(10.1%)を合わせると161人(18.7%)でした。

なお、「どちらともいえない」と回答された方が360人(41.8%)、「わからない」と回答された方が158人(18.4%)でした。

【総計】



【年代別】





**設問9** 設問8で回答した「人権が尊重されている社会になっている」と「感じる」または「感じない」理由など自由にご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

**【人権が尊重されている社会になっていると感じる理由】**

- ・以前よりも啓発活動を見聞きする機会が増えた。
- ・学校での人権教育が行われている。
- ・身近に差別を感じない。
- ・外国人の子どもが日本人と一緒にの学校に通い、同じように授業を受け、以前の日本に比べて外国人は暮らしやすくなった。
- ・駅前などでの啓発活動が積極的に行われている。
- ・各市町の広報誌にも人権についての記事がのせられ、講演会等も多く開催されている。
- ・おもいやり駐車場など人権についての取り組みが進められてきていると感じる。
- ・職場で女性が多く活躍している。 など

**【人権が尊重されている社会になっていると感じない理由】**

- ・子供が車の中に放置され死亡したり、子供の虐待で親が逮捕されたりなどの事件が起き、子供の人権が守られていないと感じた。
- ・患者、高齢者、障害者が安心して生活や仕事ができる場や保障が少なすぎるし、廃棄物処理などで暮らしの安全や権利が守られているとは感じにくい。
- ・車椅子を利用している方が困っている道路の段差や、身障者専用の駐車スペースに一般の人が平気で駐車している事など、人権が尊重されているとは思えない。
- ・女性の出産後の職場復帰についてのサポートが不十分。
- ・障害者、特に最近増加している精神障害者の職場がなく、給料も安すぎる。
- ・高齢者施設での虐待問題。
- ・障害者や難病患者等の雇用率が低い。
- ・非正規労働者の正社員実現が難しく、身近に苦労している人がいる。
- ・結婚などの時、相手がどこの土地に生まれて住んでいるか、などの調査をする人が周りに結構いる。 など

また、「どちらともいえない」、「わからない」理由のご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

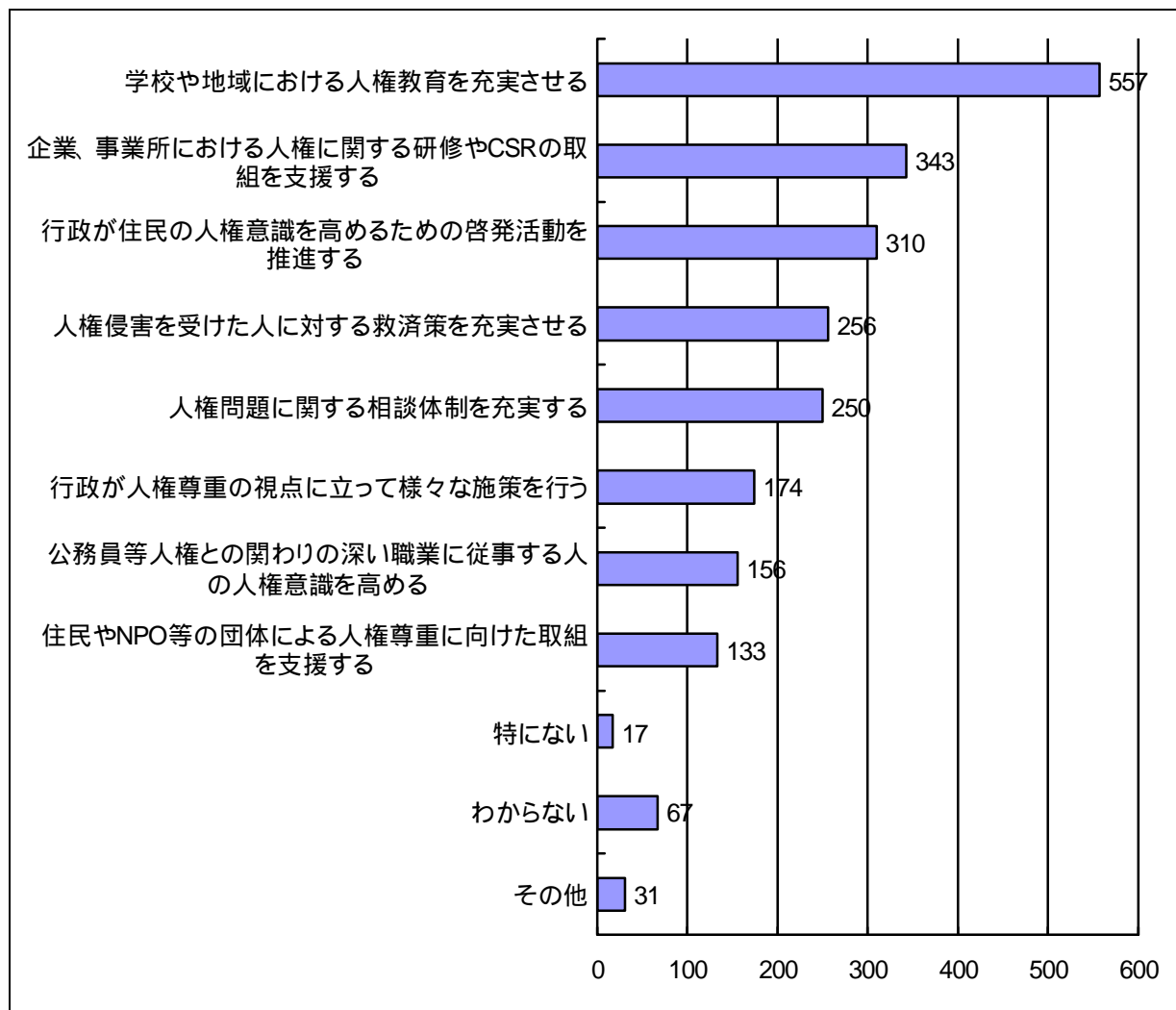
- ・三重県が他県に比べてどうかわからない
- ・特に人権について意識する機会がなかった。

- ・啓発運動は活発に行われているものの依然として差別的な考えを持っている人を見たり、聞いたりすることがある。
- ・三重県の各地域、各場所で成果や課題は異なるだろうし、一概にはいえない。
- ・何を以て尊重されているのか、基準が明確でない。
- ・実際に接したことはないが、まだいろいろ差別があるように感じるから。 など

**設問 10** 人権が尊重される社会の実現のために重要だと思う取組については、「学校や地域での人権教育の充実」(557人)、「企業、事業所の人権研修や社会的責任としての人権問題に関する取り組み支援」(343人)、「行政による啓発活動の推進」(310人)などの順となっています。

その他では「家庭での教育」、「罰則の強化」、「公務員が積極的に人権尊重に取り組むべき」などの意見がありました。

(単位：人)

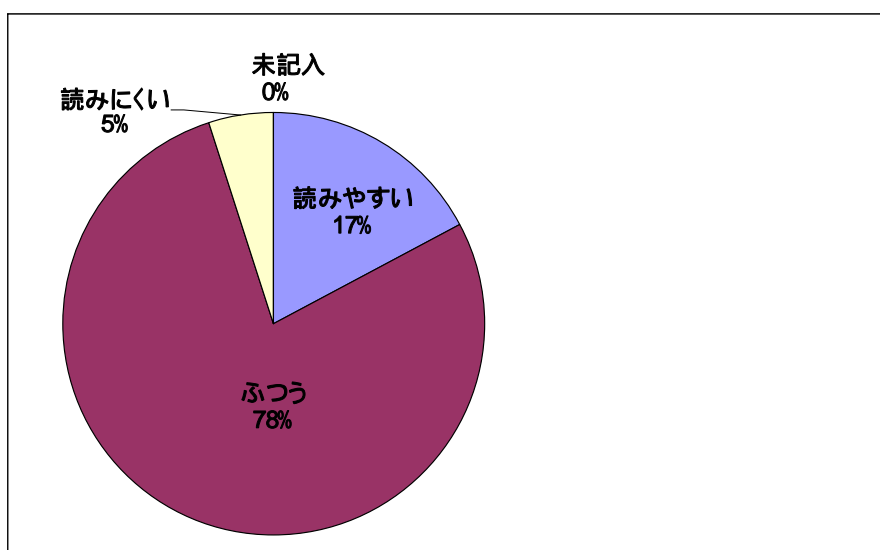


### 設問 1 1 (「県政だより みえ」の読みやすさ)

県が毎月、各世帯に配布している「県政だより みえ」について、どのように感じているかお尋ねしたところ、「読みやすい」と回答された方は17.2%(148人)、「ふつう」と回答された方は77.7%(669人)、「読みにくい」と回答された方は5.1%(44人)でした。

自由回答では、「文字を大きくしてほしい」「分かりやすい説明をしてほしい」「色使いがくどい」「欲張った紙面にせず、伝えたい内容を絞ったうえで、配列、アクセント等工夫した記事にしてほしい」といったご意見をいただきました。

少しでも見やすい、読みやすい紙面になるよう今後も努めていきます。

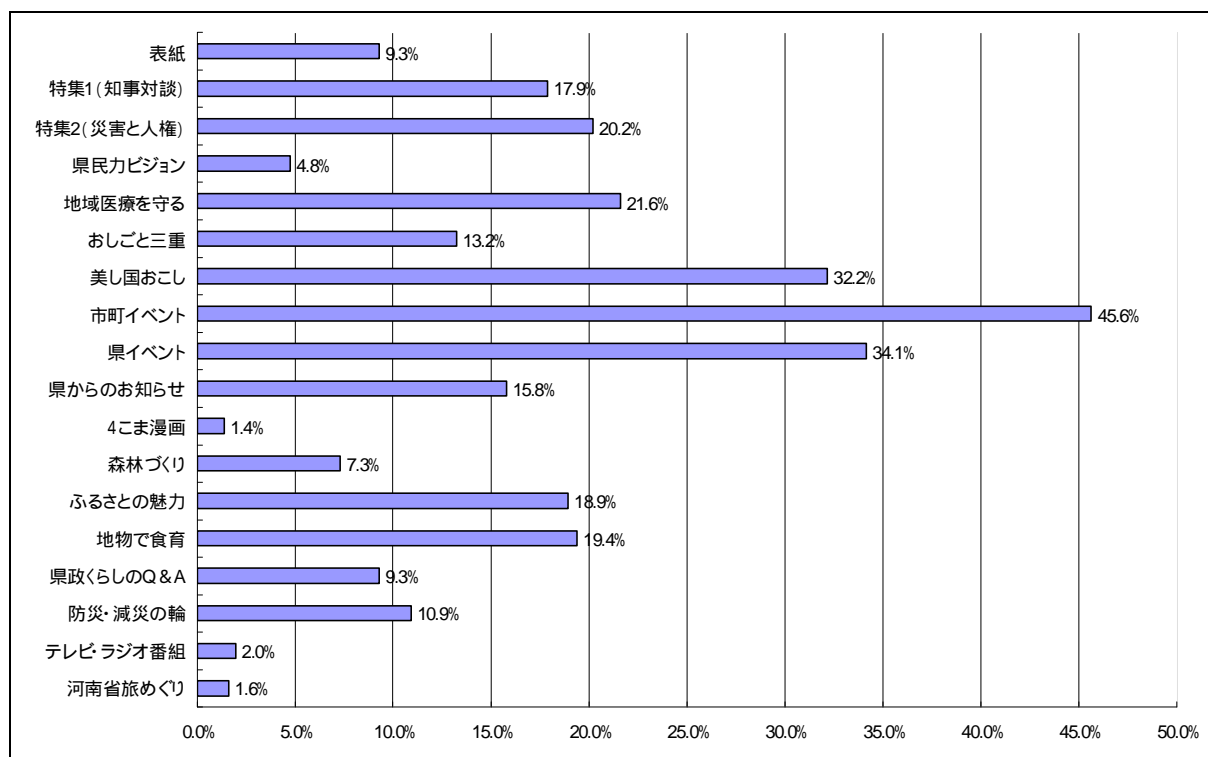


### 設問 1 2 (「県政だより みえ」記事について)

「県政だより みえ」11月号の記事の中で、「良い」または「役に立った」と思うものをお尋ねしたところ、最も回答が多かったのは「市町イベント」が45.6%(393人)で、次に「県イベント」が34.1%(294人)、「美し国おこし」が32.2%(277人)でした。

自由回答でも、イベントに関する意見をいただきました。「イベント情報を増やしてほしい」「イベント関係の写真や地図など詳しく載せてほしい」など、イベント情報の拡充を求められているものが多かったです。また、「県からのお知らせ」にある「芭蕉さんだより」の俳句がよかった」「表紙がおもしろい」のほか、「特集をもっと掘り下げた内容にしてほしい」「美し国おこし」の事業内容が理解しにくい」という意見がありました。

内容の充実をはじめ、効果的な見せ方などに心がけていきます。



### 設問13(「県政だより みえ」に対するアイデア)

「県政だより みえ」で取り上げてほしいテーマやアイデアをお尋ねしたところ、たくさんのご意見をいただきました。

#### 【取り上げてほしいテーマ】

特に多かった意見は次のとおりです。

- ・ 防災情報(ハザードマップ、防災に関する知恵など)
- ・ 観光情報(隠れたスポット、特産品、グルメなど)
- ・ イベント情報(地域の祭りなど)
- ・ 子育てに関する情報(子育て支援、子どもの遊び場など)

このほかにも「医療」「不登校」「防犯」「歴史」「自然」「三重県自慢」「県施設の紹介」「県内の元気な企業の紹介」など、ご意見をいただきました。

#### 【アイデア】

いただいた意見は次のとおりです。

- ・ 子どもも読めるようなページをつくり、三重の子どもたちにもっと自分のふるさとを幅広く知る機会になるとよい。
- ・ 生活圏が違うので、北勢・中勢・南勢・伊賀など地域別につくったらよいのではないか。
- ・ 伊勢、志摩、熊野を大段的に宣伝しているが、北勢や伊賀にも文化が存在している、

県全域を網羅するようにしてほしい。

いただきました意見を踏まえて、今年度の編集を行うとともに、来年度の「県政だより みえ」の構成に生かしていきます。

来年度の構成については、皆さんからご提案が多かった「防災」「観光」などについて、年間を通じて連載を行うとともに、ご意見にもありました「特集」について、掘り下げた内容にできるよう、ページを増やしていくことを検討していきます。また、各地域の情報を発信できるようにするとともに、イベント情報をはじめ、紙面全体を分かりやすい、読みやすい内容にしていきます。